

# 泥の河

小栗康平監督作品

1981年/日本/モノクロ/105分/DVD上映



(C) 小栗康平事務所

2023年5月5日(金・祝)

- [上映時間] ① 11:10 ② 14:10
- [講演] 加藤彰彦さん 13:00~14:00  
(野本三吉)
- [会場] 横浜市南公会堂

# 泥の河

## [物 語]

まだ焼跡の臭いを残す河っぶちで、食堂を営む家族がある。その一人息子である信雄(九歳)は、ある雨の早朝、橋の上で鉄屑を盗もうとする少年、喜一に出会った。雨に煙る対岸にその日つながれた、みすばらしい宿船の少年である。船の家には銀子(十一歳)という優しい姉と、板壁の向こうで声だけがする姿の見えない母がいた。友達になったことを父、晋平に話すと、夜はあの船に行つてはいけないという。窓から見える船の家が信雄を魅惑し不安にする。夕飯にその姉弟も招いて父親が暖かくもてなした時、喜一が歌をうたった。「戦友」であった。子供たちの交流が深まり始めたある日、見知らぬ一人の男が食堂を訪ねた。終戦直後、

晋平が別れたかつての女房の病変の知らせである。不可解な人生の断面が信雄に成長を促していく。楽しみにしていた天神祭りがきた。だが、その祭りのさなか、喜一は握りしめたお金を落としてしまふのである。しょげきった信雄を慰めようと喜一は、夜、船の家に誘った。泥の河に突き差した竹箒に蟹の巣があった。喜一はその宝物である蟹にランプの油をつけ火をつけて遊ぶのである。船べりを逃げる蟹を追った時、信雄は喜一の母の姿を見た。船は廓舟と呼ばれていたのである。翌日、船の家は岸を離れた。信雄は曳かれていく喜一の船を追いつけて、初めて生きることの悲しみを自らの人生に結びつけたのである。

## [出 演]

板倉晋平・・・田村高廣  
板倉貞子・・・藤田弓子  
松本笙子・・・加賀まりこ  
板倉信雄・・・朝原靖貴  
松本喜一・・・桜井 稔

松本銀子・・・柴田真生子  
屋形船の男・・・殿山泰司  
巡 査・・・蟹江敬三  
佐々木房子・・・八木昌子  
荷車の男・・・芦屋雁之助

## [スタッフ]

監 督・・・小栗康平  
製 作・・・木村元保  
脚 本・・・重森孝子  
音 楽・・・毛利蔵人

撮 影・・・安藤庄平  
照 明・・・島田忠昭  
美 術・・・内藤 昭  
原 作・・・宮本 輝

## <加藤彰彦(野本三吉)さんプロフィール>

1941年東京都本所生まれ 横浜市栄区在住

横浜市戸塚高校、横浜国立大卒業。

横浜市の小学校教諭を皮切りに横浜市民生局職員(寿町生活館10年勤務)、横浜児童相談所、横浜市大助教授、社会事業大学研究所員などを経て沖縄大学教授に就任。

沖縄大学学長を最近まで勤められ、現在も各方面で活躍中。

# アンケート集計結果（2023年2月5日）

## 第72回上映会 『みんなの学校』

（来場者数：152人 アンケート回収数：66枚 回収率：43.4%）

### ◎作品についての評価

- |            |            |         |            |
|------------|------------|---------|------------|
| ・とても良かった   | 54人（83.1%） | ・良かった   | 10人（15.4%） |
| ・あまり良くなかった | 1人（1.5%）   | ・良くなかった | 0人         |

#### とても良かった

- ・教育とは技術だけでなく、まさしく心の教育、子供の個性、人格、教育だと。
- ・「周囲を育てる」という言葉が印象に残りました。子どもの教育も素晴らしいですが、若い先生や新しく来た先生へのフォローも素晴らしいです。
- ・子供主体の学校生活、発言、対応を改めて見直せました。子供同士の関わりをどう言葉掛けできたら良いか、迷い中なので良かったです。まさき君の1/2成人式の場面、子供達の思いが静寂の中でダイナミックに伝わってきて涙が出ました。
- ・ロードショー時に見て、今回2回目です。子どもだけでなく教職員も保護者もあたたかく見守り、育てて下さる小学校だったんだと今回思いました。
- ・私自身が義務教育課程を通した昭和50年代から昭和60年代と比較をすると随分と現在の教育の現場の環境も大きく変化をした事が作品を通じて良く判りました。
- ・学校のあり方むずかしいですね。存続できれば一番よいことだと思います。
- ・こんな学校が近くにあったらと思うようなあたたかい学校だと思いました。
- ・あきらめない、根気よく導いてあげる姿勢に感動致しました。
- ・すごく感動しました。考えさせられ、勇気もてました。
- ・何度も泣きました。子どもたち1人1人が主役。大人の関わる姿勢、こんな学校を私も地域で作りたいと思いました。本読みます。

#### 良かった

- ・子供どうしの助け合いやぶつかり合いを通して相手を思いやる事は素晴らしい。その大切さを伝えていた。校長先生の頑張りが目立った。
- ・校長先生がえらい。職員がえらい。

#### あまり良くなかった

- ・メッセージは伝わったが間伸びした。もっと切り口をシャープにしてほしかった。

### ◎真鍋俊永監督の講演評価

- |          |             |       |             |
|----------|-------------|-------|-------------|
| ・とても良かった | 31人(60, 8%) | ・良かった | 20人(39, 2%) |
|----------|-------------|-------|-------------|

#### とても良かった

- ・監督の講演も参加させてもらい、ありがとうございました。
- ・成長した彼らが今どうしているのか、追加の取材をぜひしてほしい。木村校長がやめられた後の大空小学校がどうなっているのか。東大のHPを見てください。
- ・もっと色々とお話をうかがいたかったです。
- ・ずっと見たかった映画でした。ありがとうございました。

## 横浜キネマ倶楽部のスタッフ募集中！！

横浜市民とともに18年。映画好きが集まったグループです。自分が観たい。又、他の人にもこんな良い作品を観て欲しいとできたのが当倶楽部。是非、仲間になってください。

<確認事項> ○スタッフは、全員が無報酬の市民で構成されております。活動報酬などはありません。

○スタッフの経験、未経験は問いません。映画好き、こんな企画がしたいなど提案ある方どうぞ！

○例えば、もぎり(チケットの確認)1時間だけ手伝える方でも大歓迎です！

ご関心のある方はご連絡ください。→ [yokohama\\_kinemaclub@yahoo.co.jp](mailto:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp)

## << 次回 第74回上映会のお知らせ >>

### 『帰らざる波止場』

2023年7月29日(土)

上映時間 13:30

[講演] 佐藤利明さん(娯楽映画研究家)

時間 15:05~16:00

[入場料] 前売 1,000円 当日 1,300円

障がい者 1,000円(介助者1名無料)

[会場] 横浜市神奈川公会堂 045-432-3399

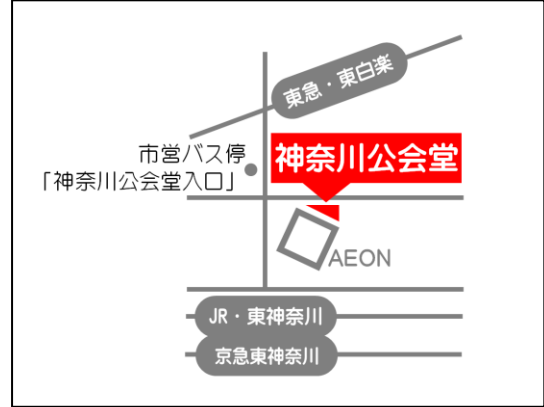
JR東神奈川・京急東神奈川下車 徒歩5分

東急東横線白楽下車 徒歩6分

… 1966年/日本/88分/ブルーレイ上映 …

出演: 石原裕次郎 浅丘ルリ子 志村 喬

監督: 江崎実生 脚本: 山田信夫 / 中西雄三



横浜市神奈川公会堂地図

## 横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう！

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、2005年5月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一步でも近づきたい、それと同時に良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年4回の上映会を行っています。

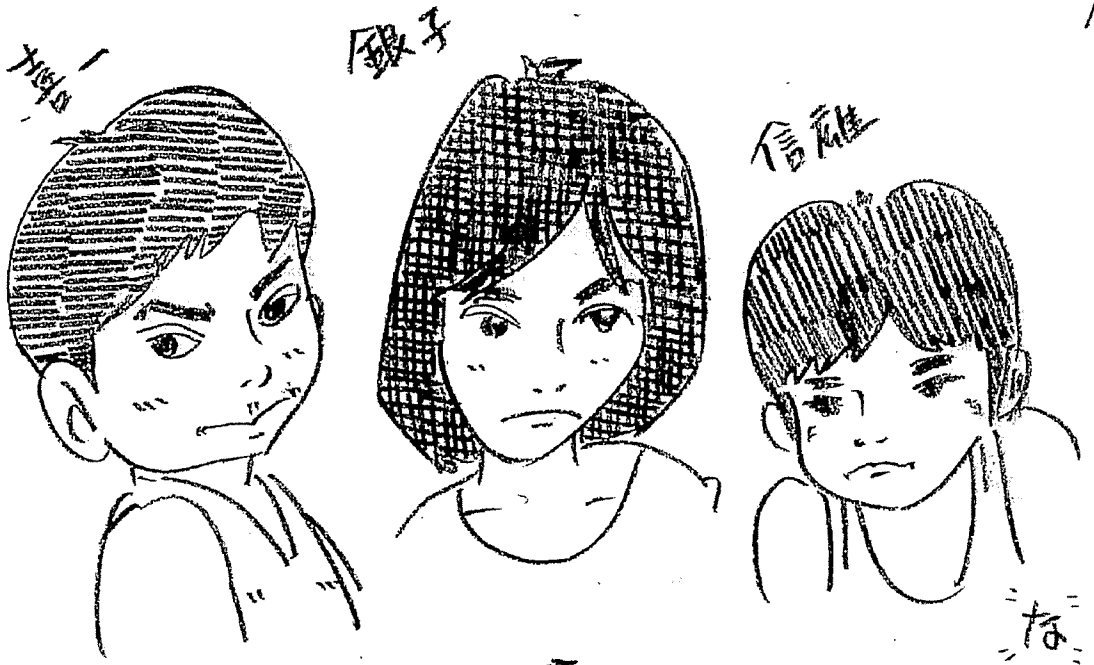
### 横浜キネマ倶楽部会報



横浜キネマ倶楽部 発行

…横浜キネマ倶楽部連絡先…

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2  
かながわ県民活動サポートセンター No.269  
TEL:080-2554-8023 (10時~18時)  
Eメール [yokohama\\_kinemaclub@yahoo.co.jp](mailto:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp)  
HPアドレス: <https://ykc.jimdofree.com/>



～ 横浜キネマ倶楽部で「泥の河」を  
上映する事になったのは～

- 引きさつはこうです。青町在住労働者にして横浜キネマ倶楽部の私長澤がある日行きつけの古本屋で1冊の雑誌を買った事に端を発します。
- 少し前に「エレphantマン」のDVDを年に入れた私は古本屋の店先でまさに「エレphantマン」が表紙の古ぼけた一冊の「キネマ旬報」を手に取りました。
- 「キネマ旬報」1981年5月号～「エレphantマン」特集もさることながらな・な・なんと「泥の河」の大特集も集まっているではありませんか!!
- 宮本輝原作 小栗康平監督映画作品「泥の河」... 各場面のモノクロカットと全シリオ付き～ 私の中で何かをばじけました!!

○ 原作はもちろん拝読済みだし映画も観ていますが  
 (しかしなんと又存っかい) ~  
 今この御時勢にもう一度観た方が ~  
 そんな思いが日に日に 不くさんでまわりました。

○ とうとう！ めろで(横浜キネマ倶楽部)やりや  
 いのじゃん！ 少し前にどこか地方で上映  
 された様ですか？ 他どこかでやるとして  
 ワラ話も聞かなくも...。

○ さ、よく私は何十ページにもなる特集をコピーして  
 オネエ倶楽部の会議に提案いたしました。  
 (しかし反応があまりです... うん...)

○ 次の会議の時 私は原田事務局長から次の様な  
 お言葉をいただきました。  
 「長澤さんへシナリオ読んで送りましたよ。是非  
 めろでやりましょ。」

○ Don't worry! Be happy!! 成せば成る。  
 成さねば成さぬ。何事も ~ 成さぬは人の  
 成さぬたけり。 ~ 東北の聖者の言葉を  
 思い出しました!!

○ 他にコピーした特集を岡田会長や会員の  
 中澤さんなどに渡し 士に賛同を得るために  
 根まわしを続けました。反応はボディパー  
 の本義に三ツツワ交わってきた様です。

- ついに上映は決定されました。岡田会長が「小栗監督とかにオファーまでつけてくれて何とかかんとか上映にこぎつけたのです。しかし右往左往を大変だった様です。
- そんなこんなで色々あって監督に講演をお願いしたのですが残念ながらお断りされました。では一体誰に講演をお願いする???
- 上映言い出しの私の私にオハチが廻ってきました。しかしその時私の中にはもうある人物の名前がいかりと浮かんでいたのです!
- そのお方の名は加藤章彦先生! 又の名を野本三吉!! つい先頃まで三沖縄大学で学長を務めあげられ横浜寿町でも10年に渡る民政職員を務められ貧困に苦しむ人達に数々の救いを差し伸べてきた方です。先生は又児童相談の御経験も長く子供の貧困の時代の一人者として申しも過言ではありますまい。
- 2016年 寿町夏祭りでは「どいり向節!!」上映会で実行委員長の名が大変お世話になった方です。超御対応を百も承知で想いを込めて講演をお願いしてみました〜
- 「OK!! いよいよ!! かんばってるネ〜」二つ返事でOKをいただきました。

- ナミダが"出"ます。先生は無理を押し  
講演に来てくださるのである。これはきっと  
素晴らしいと晩会に存子のではないでしよかへ
- 時にヤコブ"アラー"などと最近よくニュースで  
取り上げられておりますが 度はえん存ものはどうかと  
昔からあったのである。ただ 富裕な人達の  
目にふれなかっただけ...
- 和歌山県品川町大井町にも又 この横波にも  
昔は「113ヶ」と呼ばれ"大子船"の生活者が多  
あり又「カタロ」と呼ばれ"大子川"の"人達"が  
たくさんいたのである。(昭和30年代頃には)
- 映画だけのお話してはけにありません。  
大人の負担が子供に受けつが"来"ます。  
子供は"と"木"を"どうする"身も出来ません。  
今現在も"青島"には"色"な"木"か"木"背"か"た  
子供"達"が"と"木"で"も"け"な"げ"に"あ"ん"で"あ"ります。
- 加藤先生"達"は"と"う"ら"子供"を"昔"から"見"守"り"続"け  
て"こ"ま"た"ら"う"事"です。和は"こ"の"と"晩"会"に"加"藤"先"生  
が"来"て"く"だ"さ"る"事"が"天"の"恵"み"と"か"思"え"ま"せん。
- "と"木"様"も"ど"う"か"こ"の"映"画"か"ら"又"加"藤"先"生"の"お"話"し  
か"ら"何"か"を"感"じ"と"し"と"木"を"大"事"に"し"て"いた"た"ら"う"事"  
幸"い"と"お"も"じ"ま"す。お"と"ま"が"ら"う"長"壽"様。